

(5歳児)

合同防災訓練



H30.1.19

合同防災訓練が、宝塚小学校で行われました。

「ピン・ポン・パン・ポ〜ン」と、放送が始まると、避難訓練だと分かった子どもたちはすぐに口元に手をあて、次に地震の放送がされると頭を守るなど保育園での避難訓練の成果が見られました。

また、小学生のお兄さんお姉さんが、素早く避難してくる様子を真剣な表情で見っていました。



消火活動の様子も見学しました。ホースから勢いよく水が出てくると、「わあ〜！」と、歓声が上がりました。また、消火器を使った消火訓練では、大きな炎が一瞬で消え消火器の白い粉に驚く子どももいました。



白バイや消防車などを近くで見せてもらいました。

子どもたちは白バイの横に箱がついていることに気付くと、「この中に、何が入っているの?」と、おまわりさんに質問をしていました。中から誘導灯が出てくると「保育園の警備員さんと一緒だね。」と、嬉しそうに話していました。

消防車の中には、チェーンソーや鉄を切る大きなカッターも用意されていました。災害時には、様々な場面でこれらの道具が使われることを教えてもらいました。

阪神淡路大震災では、宝塚も大きな被害を受けました。合同避難訓練では、地震の怖ろしさだけでなく自助、共助する大切さも知りました。ご家庭でも災害時どこに避難するのかを子ども達と一緒に話し合ったり、避難用袋の用意など一度確認してみてくださいね。

